

コーヒーの 将来考える

24日、中区で講座

浜松市中区の静岡文化芸術大と日本環境学会は24日午後1時半から、公開講座「コーヒー2050年問題とフェアトレードの現在」(静岡新聞社・静岡放送後援)を同大で開く。

国際協力や環境問題を研究している同大の武田淳准教授ら4人が登壇し、地球温暖化の影響で、2050年には全世界の

コーヒー生産量が半減するとされる問題を取り上げる。減収の危機を乗り越えるための生産現場の取り組みを紹介するとともに、消費者が環境やコーヒー生産量の問題に對してできることを、発展途上国の生産品を適正価格で取引する「フェアトレード」を通じて考える。フェアトレードコーヒーなどを販売するマーケットも設ける。

入場無料。希望者は同大Webサイトのイベントページから申し込む。

